

発達心理学の観点から見た絵本レビュー中の子供の反応の分析*

上原 宏^{†‡} 馬場 瑞穂[§] 宇津呂 武仁[†]

筑波大学大学院 システム情報工学研究科[†] NTT ドコモ 法人事業部[‡]

筑波大学理工学群工学システム学類[§]

1 はじめに

教育に関連する書籍は、特定の分野に関する知識を身につけることを目的としたものが多い。そうした中で絵本は、娯楽的な表現形式をとりながらも、子供のさまざまな認知発達への効果が認められており [3,9], その点で特定分野の知識習得を目的とした一般の教育関連書籍にはない特徴を有する。また、絵本は活字を読むことができない幼児を主たる対象とするため、親や保育者の読み聞かせによる刺激と、絵による視覚刺激によって、子供の理解が成立するという点も他の書籍にはない特徴である。発達心理学の諸研究によれば、幼児は、年齢に応じて特徴的な認知的反応を示すことが知られている。絵本の読み聞かせが認知発達に何らかの刺激を与えるとすれば、自ら読む行為から開放された幼児は、読み聞かせ中にそうした効果を示唆する何らかの反応を表現する可能性がある。本論文では、実際に絵本を読み聞かせた親や保育者が書き込んだレビューを大量に収集し、子供の反応に関する記述を年齢別に抽出、分析するとともに、発達心理学における知見をふまえてその分析結果の解釈を行い、絵本が子供に発達の効果を及ぼす様子を明らかにする。

2 絵本情報サイト「絵本ナビ」

本論文では、絵本情報サイト「絵本ナビ」¹に読者が書き込んだレビュー（以降、レビュー）を分析の対象とする。絵本ナビは、絵本および児童書 55,600 タイトルに関する出版社、著者、あらすじなどの基本情報の他、大量のレビュー（2015年1月現在で約29万レビュー）が書き込まれる国内最大級の絵本および児童書に特化した情報サイト（表1）である。書籍のレビューが大量

表 1: 絵本情報サイト「絵本ナビ」

(a) 「絵本ナビ」基本情報

サービス開始	掲載タイトル数	月間ユニークユーザー数	登録会員数	レビュー数
2002年4月	56,000作品	1,055,000人	343,000人	291,000件

(b) 「絵本ナビ」年齢別レビュー数 (0~5歳)

0歳代	1歳代	2歳代	3歳代	4歳代	5歳代
7,272	13,450	22,448	25,795	21,573	18,143

に書き込まれた情報サイトとしては、他に amazon², ブクログ³がある。絵本は通常、親もしくは保育者が子供に読み聞かせるものであり、本を理解する主体と読む主体と異なる点が他の書籍と異なる。絵本ナビのレビューにおいては、通常、こうした読み聞かせにかかわる読み手と聞き手それぞれの反応の詳しい記述が見られ、更に聞き手である子供の年齢が明記される。この点は、他の書籍情報サイトの絵本に対するレビュー記述には見られない特徴である。本論文では、絵本の読み聞かせ行動における、聞き手、すなわち子供の反応特徴を抽出するため、絵本ナビのレビューを分析の対象とする。

3 絵本レビュー中の記述の類型化

絵本ナビのレビュー書き込み例を図1に示す。この例のとおり、ほとんどのレビューでは、絵本の読み手（以降、レビューア）の反応に関する記述と聞き手である子供の反応に関する記述が混在している。そこで、次に、絵本16タイトル、345レビューを対象としてレビュー中の記述を手で類型化した結果を表2に示す。この結果においては、レビューアの反応についてのみ詳細な類型化を行っているが、子供の反応についても、同様の詳細な類型化が可能である。そこで、本論文では、レビュー中に出現する子供の反応記述について、発達心理学における子供の発達に関する年齢別タイプの観点から類型化を試みる。次節で、この類型化の考え方を述べる。

* Analyzing a Child's Behavior in Reviews on Picture Books based on Developmental Psychology

[†]Hiroshi Uehara, Takehito Utsuro, Graduate School of Systems and Information Engineering, University of Tsukuba

[‡]Hiroshi Uehara, NTT DOCOMO, INC., Corporate Sales and Marketing Division

[§]Mizuho Baba, College of Engineering Systems, School of Science and Engineering, University of Tsukuba

¹<http://www.ehonnabi>

²<http://www.amazon.co.jp>

³<http://booklog.jp>

表 2: 絵本レビュー中の記述の類型化

類型	内容	絵本16タイトルに対する345レビュー中の記述数	
レビュー者の反応	絵本の感想・評価	レビュー者の絵本に対する感想・書評	177
	子ども時代の回想	レビュー者が子供時代に絵本を読んだ際の反応記述	11
	読聞かせの工夫・演出	読み聞かせ時に、ジェスチャーや声色を変えるなど子供の関心をひくための工夫・演出	33
	子供の反応期待	当該絵本が子供にどのような影響を与えるかについての、期待・懸念	177
子どもの反応	絵本読み聞かせ時、もしくは読み聞かせ時とは異なるタイミングでの子供の反応・行動の描写記述	276	
絵本の描写	絵本シーン、ストーリー、登場キャラクターに関する記述	147	

うんとこしょどっこいしょ!

★★★★★

30代・ママ・兵庫県 男の子2歳

一緒に「うんとこしょどっこいしょ」と引っ張るマネをします。「ぬげません～」を繰り返すのが楽しいようです。ぬげたら「もっかい！」と何回も読んでいます。

何度も読むうちに、パターンを覚えたり誰が増えるかを覚えたり、子供にも変化がでてくるようなお話です。

子供の反応記述

おじいさんたちが疲れて座り込んでいるのも抜けて踊っている姿も、見ていて楽しくなるような動きのある絵本だと思います。

「カブ」があまり身近でないので「大根」の仲間だよ～と教えていますが…!

読み聞かせの工夫・演出

絵本ナビでもオススメにランキングされていますが、やっぱり誰でも楽しめるイチオシだと思います。

レビュー者の感想・評価

掲載日: 2012/01/12

図 1: 「絵本ナビ」のレビュー書き込み例

4 発達心理学の知見をふまえた絵本レビュー中の子供の反応の分析

4.1 子供の反応記述の収集および特徴的表現の選定

表 2 に示す各類型においては、それぞれの類型を表象する特徴的な表現がいくつか存在する。例えば、「単純な繰り返し文でわかりやすく読みやすいです。」という記述で、「わかりやすい」、「読みやすい」という表現は、レビュー者の絵本に対する感想・評価に関する記述中に出現する傾向が高い。一方、「繰り返し読み聞かせているうちに、まだ字が読めない息子が自分で覚えて読んでくれるようになりました。」という記述で、「息子が自分で」、「ようになりました。」という表現は、子供の反応に関する記述中に出現する傾向が高い。そこで、本節では、表 2 の類型のうち「子供の反応」に

表 3: 子供の反応記述において頻出する特徴的表現

指差す/指差し/指指し, 食い入る, 聞き入る, じーっと/じっと, つかもうと/つかんで/つかみます, 手を伸ばし/手をのばし, つぶやいて, ようになり, 真似/まねっこ, ごっこ, 質問, なりきつ, ふりする, 入り込んで, 重ねて, 「?」, 感情移入, 見立て/見立てる, はらはら, どきどき, わくわく, 置き換えて, なりきる,

着目し、それらに頻出する特徴的表現を人手で抽出した。その結果を表 3 に示す。

4.2 発達心理学における幼児の反応特徴の分析

発達心理学では、子供の年齢に応じて、発達段階を示す特徴的な反応が現れるとされている。そこで、まず、子供の年齢別反応特徴に関する発達心理学の文献 [1, 4-8, 10-13] (このうち、文献 [1, 10, 12, 13] は、絵本に対する子供の反応特徴を記述したもの) から、子供の各年齢で中心的に現れる反応特徴を 1 歳前後から 3 歳前後の範囲で抽出した結果を表 4 に示す。年齢をまたがって現れる特徴もあるが、概して低年齢ほど、「指差し」、「身振り」など断片的な身体表現による反応となり、高年齢ほど、「ごっこ遊び」、「なぜ?」という質問など、意味的なまとまりをもつ連続した反応を示す傾向が見てとれる。

4.3 発達心理学の知見をふまえた分析対象表現の選定

表 4 中における、0 歳前後から 3 歳前後の各年齢における子供の反応類型に該当する特徴的表現のうち、表 3 において選定されたものを、表 4 の「表 3 中の特徴的表現」の欄に示す。本論文では、これらの「表 3 中の特徴的表現」欄の表現およびその使用形態を分析し、絵本レビューを観測対象として、表 4 に記載した発達心理学の知見が裏付けられるか否かについての調査・検討を行う。そのために、本節では、直接の分析対象とする特徴的表現を選定する手順について述べる。

表 4: 発達心理学の知見に基づく子供の年齢別反応特徴および表 3 中の特徴的表現

年齢	発達上の反応特徴	説明, 事例	表3中の特徴的表現
1歳前後	身体+言葉で表現	・言葉で言い表せないことは、指差し、身振りなどで示そうとする ・絵本を見るとその記憶がよみがえり、手を伸ばして体ごとかわる	手を伸ばし/手をのばし、指差し/指差し、つかんで/つかもうと/つかみます
	視覚刺激への反応	・絵に反応、特に食べ物の絵は、圧倒的に子どもの関心が高い ・物の絵本(乗り物、動物など)を見ることによって、自分の知っていることを確かめて喜ぶ	じーっと/じっと
	ふり・つもり行動	・例:「ちょうだい」というと、実際に存在しない物を渡すまねをする	ふりする
2歳前後	繰り返りリズムへの反応	・擬態語・擬声語に反応 ・“ころりん” “すつとんとん” など、意味はわからないが、響きが好きでまねする	オノマトペ
	真似	・周囲の人・物、身の回りの出来事など、いろいろなもののまねをする。	真似/まねっこ
	見立て・ふり・つもり行動	・見立てるもの(例えば積み木)と実物(例えば食べ物)との間に何らかの共通性を見出す ・積み木を自動車に”見立て”る。ネコになった”つもり”で遊ぶ	見立て、ふり
	簡単なごっこ遊び	・二人でいすを並べて汽車ごっこするなど、3歳以降の本格的ごっこ遊びの基盤が形成される	ごっこ
3歳前後	ごっこ遊び	・絵本のストーリーやその一部を遊びの中で再現するようになる。また、生活の中でも自分を想像上の人物(動物)とみだてて行動することがある	ごっこ
	関係性・因果性への関心	・どうして? なぜ?という質問を通じて不思議に思うことのイメージをふくらませる。知的好奇心が高まる ・例:「おとうさんは、おとこだから新聞をよんで、おかあさんは、おんなだから、朝ごはんつくるんだ。」	？」
	物語に感情移入	・絵本の世界に入り込む 例:「ホンにはいたらおばあちゃん助けられるの。」	感情移入、入り込んで

表 5: 分析対象レビューの年齢別総数 (0~5 歳)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1,491	3,150	4,306	4,062	3,203	2,033

本節では、まず、「絵本ナビ」において書き込みレビュー数の多い絵本、上位 99 タイトルに関する全てのレビュー約 27,000 件を収集し、「表 3 中の特徴的表現」欄の特徴的表現の表記が出現するレビューを抽出する。そして、それらの表記の出現箇所において、実際に子供の反応が記述されているか否かの割合を測定する [2]。その結果、実際に子供の反応が記述されている割合の高い特徴的表現として、「じーっと」、「真似」、および、「ごっこ」を選定し、次節の分析において用いた。

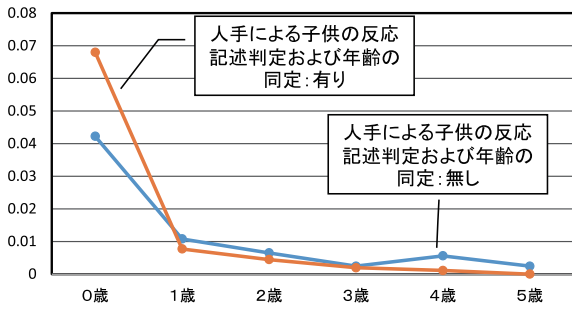
4.4 子供の反応の年齢別分布の分析

前節で選定した特徴的表現「じーっと」、「真似」、および、「ごっこ」は、発達心理学上の年齢別類型では、それぞれ、1歳前後、2歳前後、3歳前後の発達段階を特徴付ける表現である。本論文では、これらの特徴的表現を通して、発達心理学の知見が裏付けられるか否かの分析を行う。具体的には、本節では、これらの特徴的表現を含むレビューの子供の年齢別観測数分布を

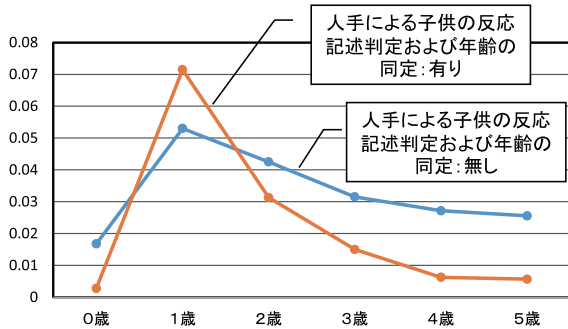
抽出し、発達心理学での知見における年齢別類型との対応関係を分析した結果について述べる。

まず、これらの三種類の特徴的表現の各々について、年齢別観測数分布を算出した結果を図 2 に示す⁴。図 2 においては、当該表現の表記の出現頻度をそのまま用い、かつ、読み聞かせの対象の子供の年齢としてレビュー見出しに表示される年齢を用いて算出した場合の分布を青線で示す。一方、当該表現の表記が実際に子供の反応記述とみなせるか否かの判定、および、読み聞かせの対象の子供の年齢の同定をいずれも人手で行った場合の分布を赤線で示す。図 2 の結果から、本論文において分析対象とした特徴的表現「じーっと」、「真似」、および、「ごっこ」のいずれにおいても、絵本レビューにおける年齢別分布と発達心理学の知見における子供の反応の中心年齢との間には一定の相関が観測された。また、この相関の傾向は、図 2 において、人手による判定を必要とせず全自動でのプロットが可能な青線においても同様に観測される。ただし、人手による判定を必要とする赤線の方が、この相関の傾向

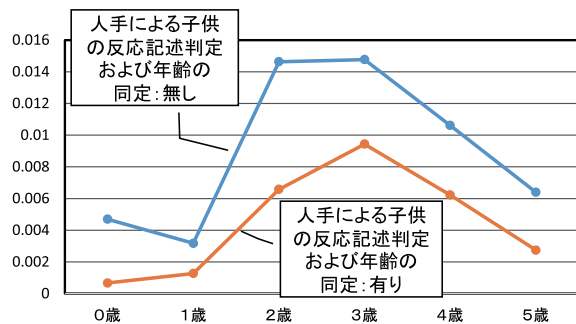
⁴ただし、分析対象としたレビューの総数は、表 5 に示すように各年齢ごとに偏りがあるため、図 2 においては、「当該表現の出現頻度 / 分析対象レビューの年齢別レビュー総数」の正規化を施した結果の数値の年齢別分布を示す。



(a) 特徴的表現「じーっと」



(b) 特徴的表現「真似」



(c) 特徴的表現「ごっこ」

図 2: 子供の反応記述において出現する特徴的表現の年齢別分布: 当該表現の出現頻度 / 分析対象レビューの年齢別レビュー総数

が顕著である。以上の結果より、絵本レビューにおいて観測される発達心理学的な子供の反応特徴が、発達心理学における知見によって裏付けられることが判明した。

なお、人手によって、当該表現の表記が実際に「子供の反応記述」とみなせるか否かの判定を行った結果、「子供の反応記述」ではないと判定された個所を類型化した結果を図 3 に示す。この結果から分かるように、「レビュアーによる読み聞かせの演出」が約 60% となり、全体の過半数を占めている。

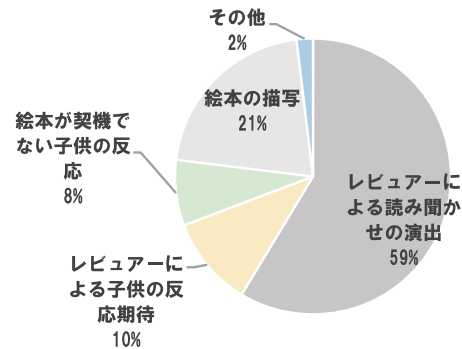


図 3: 「子供の反応記述」以外の内訳

5 おわりに

本論文では、実際に絵本を読み聞かせた親や保育者が書き込んだレビューを大量に収集し、子供の反応に関する記述を年齢別に抽出、分析するとともに、発達心理学における知見をふまえてその分析結果の解釈を行い、絵本が子供に発達的な効果を及ぼす様子を明らかにした。今後、子供の反応に関するより多くの特徴的表現を対象として同様な分析を行い、絵本の読み聞かせによる発達効果について、レビューから収集可能な情報に対してより詳細な分析を進める。また、本論文と並行して、文献 [2] では、特徴的表現を利用することにより、絵本のレビュー中に実際に子供の反応記述が含まれる数を推定した結果を報告している。今後、文献 [2] の成果を統合することにより、絵本レビュー中の子供の反応記述の分析を大規模に進める。

参考文献

- [1] 秋田喜代美, 増田時枝. 絵本で子育て. 岩崎書店, 2009.
- [2] 馬場瑞穂, 上原宏, 宇津呂武仁. 絵本レビューにおける子供の反応記述検出のための特徴的表現の分析. 言語処理学会第 21 回年次大会論文集, 2015.
- [3] 古市久子. 絵本が持つリズム性がこどもに与える教育的意味. 東邦学誌, Vol. 41, No. 1, pp. 109-125, 2012.
- [4] 今井和子. なぜごっこ遊び? 幼児の自己世界のめばえとイメージの育ち. フレーベル館, 1992.
- [5] 井上洋平. 幼児期におけるふり行動の発達の研究. 立命館産業社会論集, Vol. 43, No. 1, pp. 77-93, 2007.
- [6] 加藤繁美. 心の育ちと対話する保育の本. 学研教育出版, 2012.
- [7] 明神とも子. 幼児のごっこ遊びの想像力について. 北海道教育大学釧路校研究紀要, Vol. 37, pp. 143-150, 2005.
- [8] 乳幼児の発達の概要, お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター (編), 幼児教育ハンドブック, 第 1 部, 第 4 章, pp.33-40, 2004.
- [9] 佐々木宏子. 絵本の心理学. 新曜社, 2000.
- [10] 佐藤公代. 子どもの発達と絵本. 愛媛大学教育学部紀要, Vol. 51, No. 1, pp. 29-34, 2004.
- [11] 田口鉄久. ごっこ遊びの研究 — 1・2 歳児のごっこ遊びと援助のあり方. 岐阜女子大学紀要, Vol. 33, pp. 75-81, 2004.
- [12] 山本直美. 子どものココロとアタマを育む毎日 7 分. 絵本レッスン. 日東書院, 2011.
- [13] 吉田照子. 乳幼児の年齢別絵本リスト. 福岡女子短大紀要, Vol. 71, pp. 27-43, 2008.